

令和6年度第8回 感染症発生動向調査協議会
議事概要

1 日 時 令和6年11月20日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)
大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 院長)
事 務 局 : 酢谷 奈津(感染症対策推進課 感染症対策第二係長))
伊地田 妙香(感染症対策推進課 技師)
野池 真奈美(保健環境研究所 主任専門研究員)
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:大西委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供(月番委員専門分野から)
- (4) その他(感染症対策推進課から)

5 議事概要

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○梅毒の発生動向について

(事務局から)

- ・梅毒患者の報告数がこの数年で男女とも急激に増加しています。特に女性の場合、2024年は過去最高値になると予想され、若い世代に限らずあらゆる年代で患者数が増加していることが認められます。

(委員から)

- ・現状から考えると予防啓発には、全ての世代にむけて「患者数が男女とも急増しており、特に女性はあらゆる年代でのリスクが増加している。」ことを発信することが重要だと思います。その他に県として何か案はあるでしょうか。

(事務局から)

- ・希望者に対して各保健所で実施している梅毒検査を有効活用してもらうため、検査に関する情報を積極的に発信していこうと考えています。